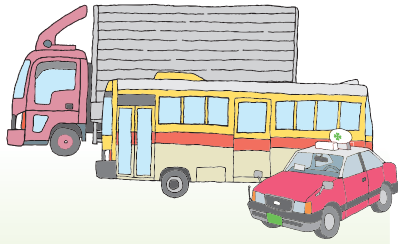


アルコールを検知すると、エンジン始動不可に! 飲酒運転は絶対にできません!!



使い方はカンタン 4 ステップ

Step 1

専用マウスピースを取り付けてスイッチをON!!

衛生のため専用マウスピースを使用します。

黄色いボタンでアルコールチェックの電源を入れます。

Step 2

表示が「blo」になったら息を吹きかけます。

電気で20秒(※1)ほどかかります。この時点でキーを回してもかかりません。「blo」表示になったら息を吹き込みます。

(※1) 気温により20秒~180秒(-20℃)の間で変わります。

Step 3

わずか4秒で、クイック検知

ビビッと音がするまで息を吹き続けます。

ALC-ZERO II には測定時にカメラで撮影! 「なりすまし」も防止!!

※ZERO IIのみ

Step 4

アルコールが検知されなければ「エンジンをかけてください」と音声で指示。

<アルコール検知されなかった場合>

音声ガイド

<アルコール検知された場合>

音声ガイド

エンジンをかけることができません。

管理もラクラク メンテナンスツールキットで動作記録を一括管理!

全ドライバーの
検査結果が一目瞭然!

乗務後、車両に搭載されているALC-ZEROのハンディユニットを取り外し、管理者がPCに接続されているメンテナンスツールにハンディユニットを接続することで、乗務記録のログを見ることができます。

※またZERO IIではSDカードでも見る事が可能です。



測定をしなかったり機器を分解、断線した場合もすべてログに保存されます。

ロックされているよ!

3つの機能で 使いやすさと確実性の便利機能



1 エンジン停止ごとの測定は不要 「フリータイマー機能」

乗車時にアルコール測定をすれば、管理者が指定した時間内は再測定なしにエンジン始動が可能。積み降ろしを頻繁に行う宅配車両やガソリンスタンドでの給油などに便利です。

※アイドリングストップ機能付きの車両にも対応。



2 「抜き打ち検査機能」を搭載

エンジン始動後のアルコール摂取を防ぐため運転開始後の「抜き打ちチェック機能」を搭載。走行中にランダムで「エンジンを止めて測定してください」と音声ガイドで測定を促します。

※このガイドを無視するとログが残ります。



3 緊急時には誰でもすぐ動かせる 「オーバーライド機能」

車両故障や乗務員の急病などの場合は「緊急スイッチ」を押すことで、即エンジンを始動することができます。

※不正・乱用防止のため、緊急スイッチを押した場合はログが残ります。



ALC-ZEROシリーズ

貴社の状況に合わせて最適なタイプをお選びいただけます。



ALC-ZERO II (カメラ標準装備、SDメモリーカード ver.)

カメラ付きで、万全の本人確認機能。
測定ログもメモリーへ確実に残せます。

測定時の顔写真、そしてランダムで運転中の顔写真を撮影、保存することでなりすまし測定を防止。不正をさせません。測定結果、顔写真はSDメモリーカードに保存され、管理者のパソコンでの確認が可能です。

- カメラ標準装備
- SDメモリーカードで記録可能!
- メンテナンスツールキット対応



ALC-ZERO I (スタンダード ver.)

安全確実な車両運転を、呼吸ひと吹きで。
飲酒リスクを確実に管理するベーシック機種。

飲酒運転防止の切り札、アルコール・インターロック装置。アルコールを検知するとエンジンが始動できないので、飲酒運転はできません。管理者に代わって車が飲酒運転を防止致します。アルコールにのみ反応する燃料電池式センサーにより誤反応の無い測定が可能です。

- メンテナンスツールキット対応

